

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	<b>模範解答</b>

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】

1 次の文の \_\_\_\_\_ のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの1～4の中から、それぞれ一つえらびましょう。 **レベル3**

(1) シュウ中して勉強する。

- 1 週      2 習      3 終      4 集

4

(2) 暗くなる前に、早くカエル。

- 1 返る      2 買える      3 帰る      4 代える

3

返る⇨もとにもどす      変える⇨今までとちがったものにする  
 帰る⇨もとの場所へもどる      代える⇨あるものに、ほかのものの役目をさせる

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

2 次の \_\_\_\_\_ 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方か、書きましょう。 **レベル7**

(1) 広間に集まる。

読み方	読み方
ひろま	ひろま
音・訓	音・訓
訓	音

(2) 広大な土地。

読み方	読み方
こうだい	こうだい
音・訓	音・訓
音	訓

中国から入ってきた発音を元にした読み方が「音」です。  
 もともと日本にあったことばに漢字を当てはめた読み方が「訓」です。

【文の構成を理解する問題】

3 次の文の主語・述語を \_\_\_\_\_ 線部1～4の中からそれぞれえらびましょう。 **レベル7**

(1) きのう わたしは 友達と 児童館で 遊んだ。

主語	主語
2	5
述語	述語
2	5

(2) 水族館で 見た 魚には、青く 大きな ひれが あった。

主語	主語
6	7
述語	述語
6	7

主語は、「だれが(は)」「何が(は)」に当たることばです。  
 述語は、「どうする」「どんなだ」「なんだ」に当たることばです。

【文と文のつながり方と接続詞の働きを理解する問題】

4 次の□の中の文を、意味を変えずに、二つの文にします。

□に入る言葉を、あとの□の中からえらび、二つの文にして書きましょう。

レベル6

雨がふりそうな天気だが、かさを持っていない。



れい

たくさん走ったので、足がいたかった。

たくさん走った。

だから

足が痛かった。

雨がふりそうな天気だ。

しかし

かさを持っていない。

だから つまり しかし また

だから||前の文から予想される文が次に来ることを表す。

つまり||前の文についての説明を表す。

しかし||前の文と反対になるような文が次に来ることを表す。

また||前の文に、後ろの文をつけくわえることを表す。

ここでは、「雨がふりそうな天気」に対して「かさを持っていない」と反対の内容が続くため、「しかし」を用います。

【指示語の役割を理解する問題】

5 次の文の□は、何を指していますか。

文章中より書きぬきましょう。

レベル6

近所のおばさんが、水玉もよりのワンピースを作ってくれた。次の日、わたしはそれを着て、友達の家遊びに行った。

こそあど言葉は、文章中の言葉を指し示すときにも使います。ここでは「それ」に「着る」が続くため、直前の文の「水玉もよりのブラウス」を示していると分かります。

水玉もよりのワンピース

【反対の意味を理解する問題】

6 □の言葉と反対の意味のことをばを、書きましょう。

レベル5

電車が動く。

止まる

反対の意味の言葉にはいろいろな組み合わせがあります。

例「上る」と「下る」

「行く」と「帰る」